

平成26年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	生活は、不便を目にすることは少なくなり、次の段階へきていると感じています。
回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	水産業は様々なご支援をいただき、養殖業も漁船漁業も100%でき、浜の方も大分活気づいてきました。
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	私が見て知る範囲では、回復したものと判断される。被災されて家屋を失った方々は、新設の町営住宅へ入居し、全て元通りとは行かないものの、平穏な暮らしが何える。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	住宅金融支援機構の審査に7ヶ月以上かかっている、いまだに自宅の着工ができない。民間の金融機関だと1週間もかからない。ムダな独立行政法人はいらない。復興の大きな足かせになっている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	<ul style="list-style-type: none"> ・自力再建者は25年と26年でほぼ再建を終了する。 ・仮設等の住民も生活の不便は少なく、気持ちも明るく、余裕を感じる。 ・仮設にすんでいる方は、防集・災公営等への移行を待つ人たちで、方向性が決まっているので心に余裕が出来てきた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	災害公営住宅（県営）も完成し、仮設住宅からの引っ越しも多く見られるようになった。高台団地の整地も進み、住宅建設地の割り振りも終わり、自主再建の人達も住宅再建に向けて活動しはじめたようだ。ただ、仮設住宅に残された人達には、うらやましく、そしてさびしさが増すばかりの様子です。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	高台移転のための造成工事が進んでいるため。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	自宅を新築して、仮設住宅から引越す人が増えている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	金融機関に勤務しているが、住宅新築に伴うローン申込みは確実に増加しており、被災者の再建は確実に進んでいる。土地の確保さえ出来れば、住環境の整備はさらに進展する。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	<ul style="list-style-type: none"> ・最近になってやっと仮設住宅からの転居者が増えてきたと感じる。公営住宅が建ったことや、被災した自分の土地を手放すことへの抵抗感が薄らいできたことが理由だろう。（あきらめ？） ・日常生活を送るための物品は町内でも購入できるし、水道・電気・ガス等にも困ることはない。 ・しかし…最低の物はそろったということであり、文化面での回復には程遠い。 <p>心の余裕はなく、情緒面を育む環境にはない。大人にその余裕がないため、子ども達は人として大切な何か（精神的な何か）が欠落して育っている。子ども達が豊かな自然に触れ、美しい音楽や絵画、風景に触れ、素敵な生き方をしている人と出会い、美しい日本語を聞きながら育つ、そんな町であってほしい。</p>
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	公営住宅の建設が行われているため。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	仮設住宅での生活は依然として解消されないが、その中でも仕事が安定し、一つのコミュニティーが形成されるなど、回復したと感じられる面もある。

やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	県営住宅も、また新たにでき、引っ越しをする人たちが増えている。高台移転する方も土地の整備がすすみ、用地分譲のための契約も行ったようだ。移転者はこれから住宅を建てるための準備に入るため、大変だという声も聞かれるが、これで安心して生活できるとよるこんでいる人もいる。 地域の中でも、あちこちで住宅の工事がはじまっていて、建築業の人たちは休みなく働いているようだ。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	・公営住宅が一部完成し、入居も始まっている。 ・仮設商店の入居者が、店舗再建の工事を着工している。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	当地区復興住宅への入居や近隣地区の高台用地の完成。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	住民の普段の会話、笑顔が見えるようになったから。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	日常生活は、スーパーでのお客様の出入りや、買物などを見て、落ち着いてきたように思います。全国の皆様に支えられ感謝の気持ちで、今は皆さん、明るさを取り戻し、前向きに暮しております。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	だんだんと自宅を再建されて仮設から引っ越しをする人達が多く見られます。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	普段の生活には、何ら支障がないように感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	被災者の生活の回復度 宅地造成も進み、一部移転も進んでいるが、被災者の自立再建に向けた経済力はまだまだ弱い。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	住環境については、高台移転の方の整備はすすんでいるようです。避難の際、海岸沿いを通らなくても良いように新しい道路の建設もすすんでいるようです。一步一步、ゆっくりすすんでいるように思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	・独立して仮設を出て行ってる人も多いです。 ・決まってもいない復興アパートを待っている人も多いです。 ・次の住み家がどこか、皆、関心があります。 それでも一步一步すすんでいると思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	新築の家が増えた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	復興の仕事はあるが、臨時が多い。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	・住宅事情については、進展がない様に思われる ・学校付近に被災した建物がいまだに残っている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	住宅を建てた人もいるし、準備をすすめている人もいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・復興住宅の建設が進み、転居者の増加が見られる。しかし、浸水地域に居住していた人は、以前の地域に戻りたいという希望者が多いように感じられる。そのような人たちは、未だに転居の見通しが立たず、不安な状態である。 ・復興住宅の完成に伴い仮設住宅生活から開放された人たちが増加したという現状を考えれば、やや進んでいると思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	ようやく公営住宅の話題が聞こえてきたので、進んできたと思う。生活自体は落ち着いているように感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	町のかさ上げ工事が始まり、やっとスタートしたという感じがします。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	一戸建ての家の建設が多く見られるし、復興住宅も完成し出してきて、居住の安定が少しずつ確保されてきている。

やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	前回の調査で「自力で住宅を再建、また中古住宅購入などで、5世帯ほどが転居したこと。これは復興の証である。」と書いた。あれから3ヶ月、さらに増加し、自力復興者が計12世帯になったことは喜ばしい限りである。 復興災害公営住宅が町内北部1地区に完成した。中央部予定地は、用地交渉が地権者の関わり合いで難航していると聞く。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	災害公営住宅も3ヶ所が完成し、入居済みである。自宅の建築も進んできているのが目につく様になった。土地の価格も震災前に戻りつつあると思われる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	自分はそんなに変わらないが、周囲は進んでいるかも？
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	高台の整地作業も目に見えるようになってきました。待ち望んでいる人たちにも希望がもてるようになってきたと思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	復興住宅などが建築されてきた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	・生業（養殖漁業）の根幹をなす生産は始まっておりますが、漁港の整備がまだ完了していないため、作業場建築がなされず、生産活動に支障を来している。 ・住居の見通し、防災集団移転促進事業は概ね敷地造成の目途は付いたようであるが、土地区画整理事業はまだ先が見えない状況であり、被災者の不安が募ってきている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	自宅を再建した人や、復興住宅に入居して落ち着いて生活を送っている方も増えていて感じます。高台移転で新築を予定している人もいます。 その一方では、まだ進んでいない方もいますが、全体的にはやや回復しているのでは、と思います。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	会社が被災し、一時は失業した方も就職（異業種）し、特に問題はない様子から、そう感じました。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	人口の流出はあるのかもしれないが、インフラ整備は終わり、仕事による雇用の進展のみとなったような気がする。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	自力再建される方々がどんどん家や商店を建てている印象を受ける。一方で、経済的な理由等で社会的に立場の弱い方々は、益々お困りの様子です。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	今年中には全世帯の高台移転が可能と思われる。また、雇用に関しても求人は多数あるが応募者が少ないことが現実です。一時的な高収入で仕事を選択せず、求職者には是非、将来性を重視してほしいと望みます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	道路等の整備の遅れを感じます。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	復興住宅への入居が始まり、落ち着いた環境での生活がスタートした方々がいるため。 空部屋の活用（入居促進や入居対象）対策は必要と感じています。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	雇用の増加 スーパー・コンビニの食品の売れ行き、人の出入りの増加
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	自宅を再建した方々が徐々に増えつつある。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	周囲の被災者は、その事情がさまざまなので、一概に言えないと思います。もとの場所に家を建てたいが、土地区画整理がまだなので戻れない人もいます。 流された土地は、あきらめて（津波がこわく、忘れることができない）、他の所へと考えていても、資金がないので、次のことを計画できずにいる人もいます。 土地を売ることに決めてはいても、ローンが残っているために、それをあてにして次に住むところを、と思っても、無理があるので考え中の人もいます。

どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	震災からある程度時間が経過し、普段の生活は震災前と同じくらいまで回復したと思うが、仮設住宅から、自分で家建てたり、公営住宅等に入らない限り、完全に回復したとは言えないと思います。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	働き手のある家庭では、家を建てて、どんどん引越しているが、働き手のない家庭は、ずっと変わらない生活が続いています。あきらめているような感じも受けます。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	自宅再建をなさる方々が少しずつ増えてきているような気がする。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	自宅を再建され生活される方も増えてきた。一方、うつ病を発症される方や施設に入所となる方もいる。老人世帯にしわ寄せがきている。介護保険料の自己負担がなく、助かるとのお話があった。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	復興住宅の工事が進み、仮設住宅から早く移れる事が実感できている。一方で、移転先の造成が遅れている。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	高台移転について 未だ勉強会や説明会が行われている段階。造成工事は着手されてはいるものの、その規模が大きいので、実感となると3ヵ月前と大差はあまり感じません。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	資金のある人や年齢の若い層は、新しい家を建て、仮設を出ていかれる。もちろん、前を向いて生きていかねばならないから！！ 高齢者、1人住まいの人々は、将来に希望も持たず、復興住宅を待っている層もあり、差がはッキリ出はじめている。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	仮設住宅に住んでいる方と話す、結露がすごく生活が大変だと聞きます。新しい家が建っていくとあせるが、区画整理もままならず、土地さえ探せないと言っています。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	仮設住宅に空があるが、新築しているわけではなく、他県に移住し、戻る予定が戻らずに、そのまま他県へ引越というケースが多々ある。 復興住宅は優先的にすすめられているが、そのために他の被災者の方の補修工事が遅れている。水道の凍結や下水道の修理等も後手後手になっている。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	少しずつ高台へ自力で再建する人がいるが、それができない人はまだ仮設に住んでいて、復興住宅の完成まで出ることができない人がたくさんいる。 復興需要で建設関係やサービス関係で仕事がたくさんあるので、仕事をする気持ちがあれば、就職できると思う。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	住居にいたっては進んでいない。仕事はあっても、福祉施設に勤める方がない。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	土地区画整備事業に係る高台移転等具体的に進んでおり、一部地権者は住宅再建に向け動き出すなど明るい動きもあるが、大半の住民はまだ具体的な目処も立っていないという先が多い。 住環境と言う面で、当地域は昔から戸建住宅に住むという生活を続けており、他の地域に比べ集合住宅やアパート等に対し抵抗が強く災害公営住宅（集合住宅）の建設も難儀したという話も聞いている。 生活という点では今は落ち着いていると思われるが、上記の通り慣れない集合住宅（仮設住宅）暮らしでメンタル面での疲弊は計り知れないものがあるものと思料する。今後は、住宅再建等について再建が「出来る人」「出来ない人」がはっきりしてくることから違う意味での心労が増す人が増えるのではないかとと思われる。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	自主再建されて仮設住宅を後にされる方は、うちの仮設ではもう居ないかと思われそうです。残された方々は公営住宅を希望される方々です。ですから、どちらともいえないに○を付けました。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	少しずつだが住宅が建てられてきている。

どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅を自力で新築する人もいますが、今後の国等の動きを待ってから動こうとする「様子見」をしている感じを受けます。震災直後のように物事を次々とやっついていこうというのではなく、少し停滞しているように思います。 ・公営住宅が目に見えて完成してきて住民の話題となっています。道路工事も進んで見えます。しかし、住宅移転について、移転先の土地は決まりましたが、どのように使われるのか不透明な部分もあり、困っているようです。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	<ul style="list-style-type: none"> ・造成・かさ上げ等、工事が進んでいる様子が見えはつきりと見てとれる。しかし、やはり東京五輪の整備で工事関係者の撤退がないか、とても心配。（撤退は必然という見方もある） ・日本全国から集まっている工事関係のみなさんには本当に頭が下がる。そんな中での事故は本当にいたましい。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	住宅を再建される方もふえ、高台移転のための宅地造成も、災害公営住宅もやっつとで始まった。動きが見えてきたことで、「先の見えない不安」はめどがたったようにも思えるが、まだまだ、今後の住まいをどうしよう、と悩んでいる方は多い。経済的な問題が多いようだ。雇用については、多くの求人があるが、あまり応募者はないようだ。雇用のミスマッチがあるようで、飲食関係、土木関係、介護関係と、いつも求人の一覧の業種は同じような業種。少し年齢の高い方がすぐに就ける職も少ないように思える。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	特にこの3ヶ月で変わったことなし。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	住環境の再建（自力再建、公営住宅への移転居）は見られますが、雇用は（ガレキ撤去⇒区画整理地内の盛土への変化であり）新規産業としての雇用創出は見られません。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	周囲は自立再建で家が増え、私自身も特に不便を感じず生活できている。仮設住宅の方々は、土地持ち、見通しの立たない方々と、さまざまだと思う部分で「どちらとも言えない」と感じる部分。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	高台移転はまだすすんでいないが、個人で住宅を再建して移り住んでいる人が出てきているから。仕事の面ではガレキの仕事をしている人が多いので、3月以降の仕事が心配である。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	復興住宅が今年度末に完成予定とか。実現すれば生活面では大きな回復となるだろう。やはり仮設住いは不便だけでなく、精神的にも疲弊している方が少なくない。将来に希望がもてないからか、生活面ではりあいを感ぜずにいる方々も少なくない。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	復興工事がやっつと目に見えるようになった。学校に勤務し、児童の生活の様子や仮設住宅（校庭）の方々の様子や会話から伝わってくる。当地の地価は上がり、金銭的に目途がついた人たちだけが新しい住宅を建てている感じがする。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	毎回同じような報告で大変恐縮です。被災者の生活環境は、仮設住宅に入居したときと全く変わりません。この仮設住宅内で自宅を新築して引越した方もおりません。早く新しい環境で生活したいものだと願っています。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	最近になってやっつと高台団地造成、平地の土盛りの計画が分かるようになって来た。（工事の工程がやや明らかになった）しかし、工事に着手しているのは、まだ一部のみであり、実感はわからない。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	公営住宅の募集が始まったが、高台の工事は今からの状態で、回復しているとは思えない。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	区画整理事業等が遅く感じられ、住宅地の整備が進んでいない。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	地区外への新築者の増加や内陸移転者の増加。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	被災前の日常に戻っていない。3ヶ月位の所では、復興住宅などの建設も進んでいるので。

あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	基本的には11月調査のときの回答と同じである。 仮設住宅の生活が2年11ヶ月になったが、災害公営住宅や高台住宅地の完成を待ち望む被災者は少なくともこれから1年10ヶ月以上は今の生活を余儀なくされる。 漁業組合関連の職場は、比較的復旧時期が早かったが、その内容は仮設での復旧が大半で、本格的な復旧・復興にはまだ数年以上を要するとと思われる。 商工業や観光サービス業も仮設の施設での営業を余儀なくされており、本設までには、今後2～3年以上の年数を要するものと思われる。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	女	住宅が完成されるまでは回復しているとは思えない。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	まだ、大規模な住宅建設には至っていない状態では、回復したとはいえません。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	高台移転の工事が全く進められない。最低でも仮設住宅に2年は住んでくれと行政に言われているようだ。最近、他の地区へ家を建てる人が出ている。津波で残った家だけが孤立して不安!!
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	私の住んでいる町は、特にも遅れを感じている。ドンドン人口も減っていると思われる。行政、頑張ってください。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	震災から3年が過ぎ、高齢化が進み、生活に活気が感じられなくなってきたように思える。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	・ごく一部で、民間の造成地で住宅再建工事が始まっているが、途中でストップしたり、遅れている事は相変わらずと聞いている。 ・都市計画、区画整理事業等、説明会があったりとイメージの上では具体的になっているが、造成工事に向けての準備段階にあるままであるので、そういう意味では、まだ進んでいないと思う。災害公営住宅等も完成・入居が早く始まって欲しい。 ・物価は震災前に比して高い。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	・区画整理事業も工事着工していない状況 ・防集移転事業も着工していない状況 ・防潮堤事業も着工していない状況 以上の状況もあって、住宅再建も進んでいない
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	・個人により格差が出始め、隔たりが感じられる。 ・復興住宅が完成し、良い反面、仮設でのコミュニティが薄れ始めた。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	毎日の生活に追われ、先の事もゆっくり考えられず、ただ毎日の生活をこなしていくという状況がつづき、心にむなしさを感じる。 震災後、約3年が経ち、周りの人たちの態度も3年前よりも距離を感じることが増えてきた。心に余裕がないからだろうか？事業主に、こういった傾向が見られると思う。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	仮設住宅入居数78世帯、現在住環境再建11世帯（公営住宅入居2世帯、自力再建8世帯、死去1世帯） 災害公営住宅の入居先の希望調整が終わった。防災集団移転も希望先が明確になり、団地ごとの説明会が終わった。地権者説明会も終わり、土地の買収に入るだろう。もう3年になる。造成には2年かかるとの事。
回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	復興住宅建設のスピードが最近目に見えて速くなっている。同時に、仮設住宅で暮らす人が減ってきている。 被災者が望む最も生活しやすいところで生活できていない人がいるのでは回復とはいええないと思う。
わからない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	住宅建設工事をしているところがあるが、なかなか完成しない。

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	復興特需により活気があるが、未来につづく経済の発展性はない。被災前より過剰に設備をした分、景気は一気に落ち込むと思う。事業復興型雇用創出助成金の事務手続きが遅々として進まず、せつかくの制度がもったいないことになっている。外部に委託しないほうがよかったと思われる。
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	県・町の助成の他、民間財団の支援や東日本大震災支援機構、地元取引金融機関の一体となった支援体制により、回復ないしはその途上であり、総体的には回復したと判断出来ると思料。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	・水産・漁業の生産基盤は進み、量的・額的に伸びている。ただ、震災前と比べ従事者は減った。 ・理容・美容院等サービス業も仮設ではあるが仕事は順調。 ・飲食店・商店も忙しく商売している。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	舟、加工場、サケ孵化場、アワビ施設など、震災直後にくらべ、整ってきたと感じるため。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	具体的に建築物が目に見えてくるようになり、復興が進んでいるようには見える。 しかし、永続的に地域の経済がうまくいくかどうかについては、不安を覚える人が少なくない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	地域経済は上向きになっていると思う。しかし、当地にできる予定のショッピングモールは、地元の商店街へ少なからずマイナスの効果をおよぼすと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	水産業は、カキなどが店に並ぶようになり、回復してきたなと感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	水産系の支援体制（水産庁）は手厚く、再建はかなり進んでいる。逆に設備完成後の販路確保に懸念がある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	やっと目に見える形で大型スーパーや店が建ってきた。「行ってみよう」「あの店で買ってみよう」と購買意欲が高まってきている。この町は水産業の町。鮭がまた戻ってくるようになったことや、養殖産業が復活してきたことを感じる。今後、もっと水産加工工場が増え、雇用が増えることを望む。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	復興工事等が本格的になり、以前よりも地域経済の回復がみられる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	漁業も農業も震災前のようなではないが、少しづつ戻ってきているように思える。建築業は人手や材料が足りない状態が続いているようだ。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	魚市場付近の建物（冷蔵施設）は出来上がっている感じはするが、早く元通りになり、活気ある皆と町になってほしい。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	雇用状況で、むしろ働く人の人員確保に苦労しているようだ。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	飲食店に少しだけにぎわいが増えたような気がする。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	近くに大型スーパーが出来てから、近くに家がたくさん建って来ているので、街の人口の流出を取り戻すきっかけとなり、今後の経済の回復に期待する。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	「あまちゃん」効果もあり、地域経済は以前より潤っていると思う。しかしそれは一部の企業の一過性のものであると考えられる。当地域の経済の活性化、観光のみに頼らない、長期的な視野に立ったビジョンがあまり見えない。

やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	水産業の方もだいぶ回復しているのか、求人が出ているのを目にした。人が足りないくらい忙しくなってきたのかと感じた。母も漁業関係で働いているが、忙しそうにしている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	漁港はまだ不便だが、少しずつ整備がすすんでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	仮設店舗から新しい店舗を作る人が出てきた。港の整備は進んでいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	宮古町や磯鶏に店舗が増えた(釜石に比べると店が多いように感じる。)山田・大槌を通ると、まだ進んでいないじゃないか感じてしまう。(他地区に店を移動したままで、まだ戻っていない方もいらっしゃるようだ。)
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	建設・土木関係は忙しそうであるが、小売商店は大型店の出店で大変だと思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	浸水地域に新店舗が完成し、営業を再開した企業や商店があり、徐々に回復傾向にあると感じられる。しかし、まだまだ以前より店舗数は少なく、その周辺(浸水地域)には居住者が少ない為、経済活動の活発化には程遠いと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	水産業は自力ですすめられている方々も多い。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	震災前あったスーパーや工場が移転再開し始めている。今後は若い世代の雇用確保が地域活性化につながっていくと思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	新商品の開発、新規販路の開拓など、積極的な動きが見られる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	経済的にはお金がないと不安な気持ちになるものですが、たくさんのご支援のおかげで、希望をもって、元気でがんばろうという気持ちがみられます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	ワカメ、ホタテガイ養殖が復旧復興し、さらに今季から待望の養殖カキの出荷が始まった。巨大震災により後継者が激減したが、浅海養殖が安定してきたことは喜ばしい。昨年、悲願の山田町2箇所の魚市場の復興が成り、市場の活気が取り戻されたこと。浅海養殖業生産処理共同施設が建設されてきた。大破壊された漁港や船揚場などの整備が、かなり遅れている。早期の復旧復興が望まれる。商業施設にあっては、大型店が3店舗復旧し、2店舗進出。小売店は共同仮設店舗で縮小営業している。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	・仮設商店街も復興事業の作業員等で利用者が増加しているし、近くにショッピングセンターが3月開店と言うことで、今後に期待が出て来ていると思われる。 ・水産業も様々な支援を受け、活気が出て、徐々にではあるが復活に期待が出ている感じがする。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	ホテルや大型店が新設された。被災した飲食店などが再開してきている。水産業は活気を感じられる。ワカメやコンブなど、海産物に磯の香りをを感じる。三陸鉄道北リアス線の全線開通を楽しみにしている。JR山田線としての運行は、もう無理なのだろうか。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	建築関係があわただしく動いています。地域の経済効果につながっていると思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	・水産物の流通形態が、震災前とかなり変化しており、震災以前のような物流ができなくなって来た。(市場の仲買人の変化が特に顕著に出てきている。) ・水産物の物流の変化は、福島原発事故による風評被害によるものや、2年間三陸産の水産物が出荷されなかったため、仲買人や市場の顧客等のシフトや変化等が考えられる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	大型スーパーの建設や道路の整備等で建設業は活気を感じます。

やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	建設業を中心とした発展は見受けられるが、全ての経済発展の基礎となる人々の集約がなされていない感がある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	求人が少なくないという情報があちこちで聞かれる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	復興資材の不足で県産の木材が伐採されているのではと、木材を搬送する大型トラックの台数の多さに予想してしまう。中には、高台移転先や自動車専用道路工事などの予定地での伐採もあると思うが、工事関係以外の伐採地では、県が積極的に植林を指導しながら進めて欲しいです。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	震災後、回復に向かっている所であるが、来年度の消費税の増税及び燃料費等光熱費全般の値上げにより、「不安」という精神的な部分での課題が周囲から聞こえてくる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	新聞の広告・チラシの増加 交通量の増加（特に建設関係の車） 住宅・道路の復旧
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	特に水産業（漁業）の方は震災以前に近くなっているように思われる。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	・復興のために建設関係は忙しそうです。また、工事の人たちを受け入れているホテルなどは常に満室状態で、以前より景気がよくなっている。 ・大手のスーパーのため、地元の商店が心配です ・仮設店舗の飲食店は、11月～1月はひまです。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	水産業の生産体制はかなり進み、地域経済は回復の方向にあると思われまます。震災前の水揚の水準には、まだ時間がかかると思われますが、期待しています。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	26年度から緊急雇用事業が減ることになっている。仕事は選ばなければある様と思うが、水産加工のパートなど、震災前の仕事はまだ復活していないし、これからもどうかかわからない。 職がなくて困っている人は、目立ちはしないが、町中の自営業者は仮店舗で、震災前より客足が少ない様に感じる。（もともと人出は少なかったが） 建設業者等は復興事業関連で景気が良いが、全般的には、震災前もこの程度であった様に感じる。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	両親が自営業で、自宅と工場・事務所の全てを失った。自宅は民間の地震保険に入っていたおかげで再建できたが、工場・事務所は物件が古く、小額の保険金しか支払われなかった。仮設工場を建てていただいたのは有り難いが、機械やトラック等を買そろえるには億単位の資金が必要で、借金するにも今後の見通しがたえないことにはふみきれないでおり、「どこからか資金援助があってもいいのではないか」と言っている。（両親にも別のアンケートが来ていて、こうしたことを書き綴ったが、何の反応もなく、「もうアンケートには答えたくない」とまで言っている）
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	当地区は、過疎地域であり、人口減少が激しく、経済が回復してきている実感はない。しかしながら、公共工事（復旧・復興）は依然として多いことから、建設業者は好調であり、地域経済を支えている。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	仮設店舗では、それぞれ一生懸命やっておりますが、人口の流出、住宅から店舗までの足がないなど、それに若い人達は町外に買物に行く。住宅では日用品はほとんど揃っておりますので、毎日の買物はスーパーに行き、食品を買うだけです。仮設店舗の通りは人通りもなく、経済的には大変です。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	地域経済の回復度 当地域だけに限定すれば、復興事業は一段落したと思われる。ただし、他地域での復興事業が本格化したことでより生活向上がみられる地域への流出が顕著になって来た感がある。 3ヶ月の進捗状況 ウニ・ワカメ等の水産業関係は以前より回復の度合いが早くなったように感じられる。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	観光客は増えたと聞く。

どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	特別実感するものがない。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	グループ補助金等により、水産加工業の復旧は進んだものの、人手不足により生産体制が未だ十分ではないと思います。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	住宅メーカーの求人などを見かけるようになり、業種によっては回復・発展していると思うが、求人が充足されているかという点、あまり充足されている感じはない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	仮設店舗は2年程前に再開したが、その後あまり変化がない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	高台移転の工事や、新築の家も増えてきたので、少しは進んでいる気がする。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	量販店が出店してきて雇用の場は多くなったが、地場産業に関わる人が少なく、被災前の活気がない。経済面でも他の町にお金が流れる。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	少しずつ地元の海のもものがスーパーに並ぶようになってきたように思われますが、経済面まで考えると…
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	地元の企業が活性化に望みを持って働き手の募集をかけても集まってこない。介護業界のみではなく、どこに行ってもこの問題が大きくなっていく。一つの要因としては、復興の為に他県からの応援企業に就職する方もいる様である。どこか歯車が噛みあっていない気がする。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	仕事をする気持ちがあれば、就職先はいくらでもあると思う。以前と比べて、観光客が減っているような気がする。時間とともに減っていくのかもしれない。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	建設・建築関連業者については今のところ業況活発であり今後2～3年は活況が続くものと思料されるが、慢性的な人手不足や資材高騰、消費税UP等の問題もあり、その後の対策をしっかりと立てた経営を行っていかねばならない。特に東京オリンピック関連工事が本格的に始まった場合、人手不足や資材問題は更に大きくなっていくものと考えられることから正社員としての正式雇用に踏み切れない企業も多く、雇用の面で問題が残る。 小規模小売業等については、震災後後継者不足や買い物客の減少からそのまま廃業という先もある。新規出店等の動きもあまりなく、経済産業省等で進めている各種事業等を活用した事業再構築や新規事業創造等を利用するなど、事業者任せではなく地公体や商工会などもっと活発に動いてもよいのでは、と考える。 当地区は漁港の改修や鮭孵化施設の改修も進んできており、漁業の復活も目に見える形になってきている。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	建設・土木だけが震災前以上に回復した様子に思いますが、他はさっぱりです。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	がれきの処理がもう少しでおわるようだが、高台整備が進んでいない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	基盤産業の活性化こそ、人口流出をくい止めることができると考える。そのためのアイデアを様々な世代で出し合うことが必要。若い世代が地域の産業について学べる機関あるいはそういったプログラムがあるといいと思う。地域経済の回復・発展には、人々の力が必要不可欠。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	カキの養殖など、育てる漁業もだいぶ回復しているように感じる。しかし、観光業、商店街は苦戦しているようだ。観光客も少なく、宿泊客は主にビジネスマン、復興関係の作業員、出張者のようで、そんな皆さんの宿泊も周辺に仮設宿泊所を会社で建てたりして、そこに泊まるため、へっているようだ。 仮設商店街のお客様が、以前に比べてずいぶん減っているのも心配だ。地域の経済が少し活発になってほしい。ボランティアさん、作業員さんがこれより少なくなったらどうなるのか、不安を感じる。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	この3ヶ月で変わった・良くなった事が見当たらない。

どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	農林水産業は、少しずつ回復・再生しているとは思いますが、それを取り巻く地域商業者に変化がみられません。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	支援の内容を考える必要があるのでは？
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	大規模商業施設の開店が近付いていますが、雇用や周囲仮設店舗との共存など、バランスがとれるか心配です。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	地域経済については、復興関連の仕事はもうかっていると思うけど、市民生活でいえば安定していないので、大変になると思う。地元の産業として回復はしつつあっても、まだ良くはなっていない気がする。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	建設関係は回復していると思えるが、農林水産業はまだ回復していると感じられない。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	年末消費の伸び悩み（食費以外の消費の落ち込み）。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	基本的には11月調査のときの回答と同じである。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	高齢化が進み、すべての面で活気が感じられない。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	<ul style="list-style-type: none"> ・一次産業の基盤の復旧整備は途上に有り、土地区画整理の造成との整合性の為に、水利の変更等もともない、高台の農地等にも管理作業にシワ寄せが来たりしている。復興計画が一通り完了するまで影響すると思う。 ・「所得に結び付かない作業量が多くて／増えてこまる。」という話をよく聞く。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	<ul style="list-style-type: none"> ・生産体制は、海上施設が進んでいるが陸上施設（作業場等）・船着場が少ないため…。 ・漁協の金融体制が出来ていないので、組合員生産者は資金等で苦勞している。 ・資材・燃料が高く、魚価が安く、漁にでられない状況である。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	大型商業施設の完成が間近だが、求人募集にも集まらないとの声もあり、出店予定のテナントがキャンセルしたりと、不透明な状況である。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	中心市街地の商店街整備の話もようやく出てきたが、現在、仮設商店街を形成しているところでは、中小機構の建物の契約の5年間を前倒しして、先にそちらの商店街へ移動したいという店主がいたり、まだ資金的な面や、元々震災前に高田にいなかった店主などは、中小機構の建物に頼るしかなく、商店街の空洞化が始まるのでは、といった話もでてきている。あたりまえの話だが、差が見えはじめている…。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	魚価は上がらない。水産加工場は労働がきつい割には賃金が安い。働き手は町から出て行く。働く所と賃金問題で外で結婚して子供が出来れば、そこに住み付いてもどれない。社会現象そのまんま。震災後はもつとひどい。家を建て、家具を買い、生活再建をと…現実の状況はあまく無い。消費税が追討ちをかける。年金だけは下がって行く様だ。
回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	<p>新年を迎えての情報…</p> <p>初売りに地元の人あまり集まらない。</p> <p>他市町村の大型店に買い物に出かけることが多くなっている、とのことである。</p>
回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	水産が一番早く回復すると思います。農業はどうでしょうか。国は生産者に金を渡してきました。震災後も同じです。原発も同じ、町に金を渡してやってきましたよね。そのツケが出ました。日本の林業は国が利用しようとしなかった、輸入の事ばかりで。震災後、県産材とは言うが言葉ばかりと思えます。（すみません）
回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	漁業・農業等、取り組みは始まってきましたが、収益があがるなど、生産性まで回復してきた感じはありません。
回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	地元住民の努力のみの現状、と言わざるを得ないといった印象を持ちます。

回復していない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	<ul style="list-style-type: none"> ・土地を離れる人がいたりして、勢いがなくなっていると思う。 ・仮設店舗だった商店が本店舗を建設している。
わからない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	大きな企業ができて、働く方が少ないと思います。

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	景観等の問題はあるが、防潮堤の工事も進み、安全な町づくり形成に向けて、力強い足音が感じられる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤の整備が明確に示され、より具体的な避難方策が立てられるようになった。 各地域・各学校でより具体的な避難マニュアルの計画が立てられるようになった。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	近隣地区の防潮堤。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	・災害に強い安全なまちづくりの達成度 災害住宅用の宅地造成はほぼ終了した。防潮堤や河川の整備計画も以前よりは進んでいるように見える。福祉避難所の設定なども実際に実施され、以前よりは進んでいる感じだ。 ・3ヶ月の進捗状況 目に見える形で実施されてきており、過去3ヶ月よりは進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤の工事が進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・瓦礫の山も消え、復興が進んでいる状況が感じられる。 ・防潮堤やかさ上げなどの工事は、徐々に進んでいる。しかし、道路(含む歩道)の亀裂や排水の悪さが未だに目につく。そのような点から、安全対策はまだまだ不十分だと強く感じる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	行政や職場単位での訓練等には意識的に参加し、日頃災害対策として何かしら心づもりし、準備している方々は増えた。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	災害時を想定した施設建設物の完成が続いている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	災害復興住宅はほぼ完成し、集団移転地の造成も進み、堤防などの工事も進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤工事や土地区画事業など進んでおり（だんだん海が見えなくなってきた）それ自体は安心できるが、工事の人手不足や資材高騰などにより今後の工事ははたして計画通りに行くものかどうか不安になることもある。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	防潮堤の整備は目に見える形で進んでいる。 また、震災を経験した住民個々が、安全に対する意識が高いので、話し合いの場でも積極的に討論されたりしている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	港の復旧工事はかなり進んでいる。これからは防潮堤と水門の工事だ。こちらははやく進んでほしい。 復興道路建設も進んでいて、地域の皆さんもよろこんでいる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	避難所の施設は完成したが、そこへ行く橋・道路整備が遅れているので、何かあった場合に孤立する!!
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	・25年3月に防潮堤事業発注はしたが、重機等は動いているが、なかなか防潮堤の姿が見えない。壊れた水門は片づけられたが、その後は見えてこない。 ・防集移転・災害公営住宅への取りまとめは進み、用地確保も進み、早い地域は造成工事も完成に近づいている。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	災害公営住宅の入居率の悪さ、高台移転や防潮堤の工事による多額の費用を考えると、次世代にツケを残さない事を考えることも必要ではないかと感じる。

どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	地域の人々の防災意識は、やはり震災後3年を経て、薄れていっているように思われる。 教育の力によるところが大きいと思われるので、子供もまき込み、いや、子供を中心に地域全体の意識を高める具体的な取り組みが必要と感じる。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	目に見えて達成したといえるものが見当たらない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	堤防建設など、がんばっていると思う。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	基本的に変わっていない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤の建設が進んでいない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	高台移転の住宅地として山を崩し、造成が始まっております。公営災害住宅は、中心部から離れた安全な平野地に建設中です。形が見えて来た事で、私共の町も光が見えて来た感じが致します。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	どこまで進んでいるのか全くわからない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	堤防工事が進んでいる。目に見える災害対策は着実に進んでいると思われる。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	防潮堤は、進んでいる場所とまったく手つかずの所があるようです。徐々に行っていくのかなと思う。全くすすんでいないというわけではないので、「どちらとも言えない」のかなと思う。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	・津軽石川の東側には中学校もあるので、街灯が広くあるほうが良い（川沿いが暗い）。 ・稲荷橋付近の混雑がひどい。宮古道路の早期開通・鉄道の復旧をぜひお願いしたい。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	女	堤防の工事が着工し、少しずつ進んで居るとようやく実感できるようになりました。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	防潮堤を作れば安全か？ と感じる。十年後、二十年後のことを考えた町づくりを考えてほしい。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	目に見えて達成した感じを受けない。 壊れたままの水門の扉や防波堤を見ると、とても進んでいるとは思えない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	防潮堤の工事は、まだまだという感じです。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤に着手されている所もあるが、一方、冠水するところもあり、工事の進行には差が見られる。 公平に進めていただきたい。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	高台移転、宅地造成、三鉄開通など、目に見えて前に進んでいる部分もあるが、個々人の生活が戻ってきているかという点、そうとも言えないと思う。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	震災からもうすぐ3年。防潮堤の再建をまず、望みます。安全なまちづくりを望みます。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	かさ上げ工事も防潮堤工事も少しずつ進んで居ると思うが、目に見えて感じられない。車で海沿いを走っていると、いまだに恐い。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	少しずつですが、防潮堤など、建設は進んでいると思います。復興関係の仕事が多いので、市内どこを見ても、ダンプ・トラック・その他重機が行き交っている。まだまだ以前のような街にもどらなくても、それに近い街になるまでそうとう時間がかかると思うが、ずっと大型車が行き交って、交通事情の整備など考えて欲しいと思う。 交通渋滞など、避けられるようにしてもらいたい。

どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	山田漁港周辺は、海岸道路嵩上げ工事が進み、水産加工施設の建設も見られ、魚市場機能も充実してきた。 海岸道路嵩上げ工事が進められ、急ピッチで土台基礎部分瓦礫の取り壊し除去が始まり、更地が多くなってきた。しかし、周辺の環境復旧復興工事が施工進行中ではあるが、命の安心安全や財産を守るための防災施設が、遅々として進まない現状にある。 本町を来訪する町外の有識者の話を総合するに、他市町村よりも山田町の復興が、一番遅れているという。 復興の春よ早く来い！
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	周囲はかさ上げ（海）進んでいるが、私のところは今から！
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	河川の整備は進んで居るように見える。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	港の整備も少しずつ進んでいるように見えます。しかし、住民の安全確保は、まだ十分とはいえないかと思えます。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	海岸付近のかさ上げはすすんでいるが、防波堤・防潮堤がなかなかすすまない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤の整備のため、現在工事が進行中だが、防災への取り組みは、その時々で変わってくる。 今現在、災害が発生した場合のことも考えておかなければならない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	「安全な」も「まちづくり」にも疑問が生じる。人々の「幸せ感」には、まだ道半ば、という気がする。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	まちづくりに対して地域住民が一体となつてとりくむことが難しい現状がある。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	冬季の間、長年交通渋滞となり、通勤・通学・物流等の多くに支障を与えていた国道45号の最後の難所といわれた峠が3/2にトンネル開通となる事は、命を繋ぐ安全なまちづくりにはとても大切な意味を持ちます。一時は、前政権の仕分け事業で中止となったトンネルでしたが、開通を迎える事はとても嬉しいです。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	災害ガレキの処理も終わり、表面的には進んでいる様に見えますが、防潮堤整備の為の用地取得は足踏状態の様相を呈しております。 私どもの町の中心市街地（町方地区）は、JR鉄道を境に、防災集団移転地域と区画整理（盛土後区画整理）に分別されているため、JR山田線（釜石-宮古間）の復興・復旧如何により、町（街）づくりの変更を余儀無くされるのではないだろうか。区画整理区内の盛土を行うための仮道路がすんなり、とJR路線用地を使用される事に付いて疑問を感じておりましたが、JR東日本からの提示提案の記事を読み、さも有りなん…と思うところでした。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	道路のかさ上げ工事が周辺地域で始まっていますが、具体的な完成形や効果などの説明が不十分な気がします。 （自分自身が地域の情報に接する機会が少ない点にも問題があります…。）
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	防潮堤の土地区画工事が進んではいるが、まだまだ災害に強い街づくりにはほど遠いと思われる。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	道路は舗装が必要だと感じる所が多数（避難時に必要と思われる道路）ありますが、ずっとそのままになっている。 その反面、避難路ではなく、路面がそれほど悪いと思われない、人通りもほとんどない（その集落の人だけの）ような道路が全面的に再舗装しているところを見ると、疑問を感じる。 安全な町づくりと言うならば、避難に必要なと思われる道路を優先的に総点検し、必要なことをしてほしいと思う。
あまり 達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	ハード面の工事も、なかなか進んでいません。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	災害に強いまちづくりには、防潮堤の整備が不可欠と思われます。工事は着工しましたが、完成が予定より遅れるのではないかと心配です。スピード感を持って工事を進めていただき、早く安心して生活したいです。

あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤は以前のものが撤去されているので、これから新しいのができるのだろう、ということは見えてきた。が、現状は未整備状態である。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	<ul style="list-style-type: none"> ・今までガレキの山だった土地がきれいに整地されて、囲いがなくなったことがうれしい。 ・町内の盛土が本格的に始まったことが目に見えてきた。 ・まだ途中の段階なので「災害に強いまち」にはなっていない。その中でも、学校の校舎新築については、避難所にもなるほど重要な場所であるため、早急に進めてほしい。 地権者との交渉がまだ終わっていないと聞くと、仮設校舎での学校生活は刺激が強すぎて学習に集中できないため、そろそろ限界である。（特に、低学年への影響が大きい⇒落ち着かないまま、大切なことが身に付かないまま成長）
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	防潮堤の整備は少しづつすすんでいるように思う。盛土を利用した都市整備公園もだんだん形がみえてきている。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤・高台の工事はこれからの状況で、進んでいない。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	見た感じ、まだ先の様です。早期完成してほしいものです。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	最近、地震が頻発しているので、又津波が来るのではないかと考えている。防潮堤の工事が行なわれているが、何より大切なのは、いち早く避難することである。しかし、R45沿い（陸前高田市高田町付近）には、海岸線にもかかわらず、避難誘導の標識がなく、夜間などは特に不安である。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	少し変化は感じていますが、時間の割には…残念です。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	<ul style="list-style-type: none"> ・防潮堤、吉里吉里地区は県が示している12.8mで決定しているが、地権者の相続、国道の移動、地盤改良、盛土の確保等のため、予定より遅れていると聞きますが、早急に工事着工できると達成感を感じられると思います。 ・なんといっても、工事が始まるのが、一番復興感を感じられることだと思います
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤の工事は行なっていますが、まだまだ危険な場所も多いと思います。避難方策については、あまり進んでいないと思います。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	まだ整備は進んでおらず、時間がまだ相当かかるのでは、と思う。住民全体の防災訓練ということも、まだ当市では行っていないと思うので、一度、避難訓練的なものを実施するべきだと思う。工事車両が日中、街中を走りまわっているが、また大きな地震がきたときに、この数の車両が渋滞をおこしてしまうのではないかと、と不安になる。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	防潮堤・避難道路とも、まだまだ進んでいない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	<ul style="list-style-type: none"> ・防潮堤がまだ始まったばかり、まだまだかかりそうなので津波がきたら、こわい。 ・高台移転は、まだ進んでいない。 ・ようやくガレキがなくなって、これから盛土とかが始まる場所です。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	シミュレーションに頼りすぎていて実際に起こった事象が無視されている。人命がかかっているのだからいかにシミュレーションに頼らずに災害に強い安全なまちをつくらなければ、亡くなった方々に申し訳ない。
達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	まだ防潮堤が出来ていない事と避難するための道路が広くないのにダンプが多いので、何かあったら大変だと思う。市内には何もないので津波がきたら今度はものすごく速く進んでくると思うし、上まであがると思う。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	今のままでは住民一人ひとりが自分自身で身を守るほかないと思う。その際、高齢者等は一人で行動できるかどうか、不安が残る。

達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	高田町は高田松原と50年前につくった防潮堤が時間を動かしたと思っています。 防潮堤は必要です。今後は、行政が避難所や避難教育をどのように考えるかだと思います。形式だけにしない事。 また、今、コンクリート造は50年と言われています（50年前には100年と教えられました）。でしたら、小規模学校は木造のほうが良いと思いますが、どうでしょう。今、山では木が腐ってます。 市・県・国は何を見ているのでしょうか。市の議員は何を見ているのでしょうか。人員を削減すべきと思いますが。 (今回のコメントは、ちょっと悪くなりました。)
達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	行政と住民との温度差がありすぎる。行政は着実に進んでいるとしているが、住民説明に欠けており、住民が何も知らない事が多くなってきている。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	・防潮堤の整備については、第2線堤の復旧工事が進んでいるが、その完成時期が平成28年度といわれている。また、第1線堤も同時期に完成するといわれているが、今のところ着工されていない。 ・避難方策については、徒歩による津波避難計画が示されたが、計画を具体化するための仕組みの構築が今後の大きな課題であると共に、地域の特性や実情に合った計画が今の段階ではまだ示されていない。
達成していない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤、水門の整備は手つかず。
達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	こわれた防潮堤(水門)の整備がまだ。
達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	防潮堤の整備工事は進んでいます。まだ、できてはいません。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	周りを見ても、何の進歩も見られない。
達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	岸壁のかさ上げ工事はやや見えてきた。防潮堤は計画すら見えてこない。いつから始まるのかもわからない。船着場の道も津波を受けたまま、毎日使う漁師にとっては不便。もう3年目になるというのに!!
達成していない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	かさ上げに莫大な費用を掛けるより、場所によっては、有事の際は安全に逃げられる避難道の確保に力を入れては…と思える場もある。そして暮らしの場は安心な高台へ早く移って欲しい。
達成していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	防潮堤、その他まだまだ、工事に着手していない。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	・防潮堤については、盛んに入札されて工事が進みつつあるが、まだ完成には至っておらず、津波災害には対応できない状態に有ると思う。 ・中心市街地の先行整備計画が持ち上がっている様であるが、防潮堤・水門が完成しないうちは安全確保が進んだとは言えないと思う（防潮堤の高さ・巾については、賛否両論有る様であるが、安全と生活再建の両面から考えれば、防潮堤完成は早い方がよいと思う）。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	・町方地区でようやく盛土工事が始まり、復興の光が少し目についてきました。平成29年度完成予定ですが、工事の状況から遅れる様な気がする。 ・防潮堤の整備も遅れることから、復興はまだまだ先になると思われます。
達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	防潮堤の工事がどの程度進んで居るのか、はっきりわからない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	国や自治体、工事業者の方ががんばりはわかりますが、遅々として進んでいないように思います。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	・防潮堤の工事が数箇所では始まったが、全体的には、ほとんど進んでいない。 ・防潮堤高の計画には、住民との合意形成がほとんどされておらず、非常に残念である。また、住民説明会はされたが、参加者はごく一部の町民で、しかも、防潮堤高を決定するに当たり、当局は住民の意見を聞いて決定するとしていたが、説明会では12.5mと10.9mの堤防高を示し、どちらにしますか?という説明がなされた。このやり方も非常に問題あり、と感じている。

達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	まだまだ時間がかかる。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	災害に強いまちづくりとは何か？ 私は防潮堤をまず造ることだと思います。いつになったら作る、計画を 発表するのでしょうか？ 津波の流出地域で多くの方が働いています。同じ津波がきたらどうする のか？早く防潮堤を建設して頂きたいと思います。
達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	防災無線がはっきり聞こえない地域が多数ある。避難場所を案内する市 内各地の看板が、ダンプが多数走っているため、道路が泥だらけで、土 ぼこりで見えなくなっている。
達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	被災した自宅前は夜になるとまっくらで何も見えない。不安な毎日を過 ごしている。 以前（震災前）はここちよかった波の音が今では恐怖に感じる。

【自由記載集：掲載にあたって】

- ①回答者ご本人のご了解をいただいたもののみを掲載しています。
- ②自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。)

平成26年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

平成26年3月28日
岩手県 復興局 総務企画課

〒020-8570
岩手県盛岡市内丸10-1
電話 019-629-6945